

一般質問・質疑の概要

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
1	質問 (一問一答)	3 小堀 孝史	<p>1 中学校で起きた女子生徒へのいじめについて</p> <p>(1) 中学校でのいじめ認知について いじめ問題調査委員会は、29件のいじめを認定し、中学校側は1件のいじめを認知して教育委員会に報告しています。学校側が認知しなかったのは、「いじめとして該当しない」、「事実を確認できない」などの理由で認識はしているものの、いじめの確定に至っていません。いじめ対応で大切なことは、どんな些細ないじめでも見逃さないことです。そのため教員の資質を高める研修の実施を強化する必要があると思います。中学校で教員に対して実施されている研修の実態を伺います。</p> <p>(2) スクールカウンセラーとの連携について 調査委員会がいじめと認定したいくつかの場面において、教師の面前で起きた事象やそのことについて検討した結果、及び、その後の経過等の対応記録などがスクールカウンセラーと情報共有されていませんでした。もし、スクールカウンセラーが認識できていれば対象となっている生徒への面談や担当教員への専門的視点でのアドバイス等が期待できました。スクールカウンセラーに対する体制強化の検討と、情報共有に関する取り組みを周知徹底することについて考えを伺います。</p> <p>(3) 教育委員会への報告について 中学校でいじめ認知した1件が教育委員会に報告されたと聞いています。生徒が自死に至るまでの期間、中学校でどのような対応をとったのか。いじめについて中学校から報告された内容と教育委員会で把握していた内容について伺います。 また、教師間での情報共有が十分でなかったようです。原因のひとつとして、教師の業務が多岐にわたり、多忙だったからでしょうか。伺います。</p> <p>(4) 学校における常設いじめ問題対策チームについて 本市の「いじめ防止基本方針」では、教職員がいじめを発見した場合やいじめに関する相談を受けた場合は、常設いじめ対策チームに報告するとなっています。調査委員会の提言の中ではその存在と活動状況を確認できませんでした。学校の常設いじめ問題対策チームの存在及びその機能実態について教育委員会としての認識を伺います。</p> <p>(5) 重大事態の教育委員会の対応 児童生徒が自死したり、自死に至らないまでも重大事態におちいった場合、教育委員会は、野々市市いじめ問題緊急対策チームを設置し、当面の事態に対処する必要があります。今回、学校からの重大事態の報告を受けて、いじめ問題緊急対策チームをいつ設置して当面の対処として何を実施したかについて概略を伺います。</p> <p>2 野々市市の児童生徒のSOSの出し方に関する支援について</p> <p>(1) 子どもの人権SOSミニレターの配布について 本市の自殺対策計画における第4章の施策推進方策の取組内容において、基本施策5に児童生徒のSOSの出し方に関する支援を掲げています。その取組みのひとつとして「子どもの人権SOSミニレターの配布」がありますが、昨年度の実績を伺います。</p> <p>(2) 教員に対するゲートキーパー等の養成研修実施について 今回のいじめは、報告書の調査結果として、時には教師の面前でも、いじめ認知がされる行動があったとされています。 学校で生徒と共に過ごす教師の皆さんには、各種法律・方針・計画書等に基づいて、ゲートキーパー養成研修を含めた心理的・精神的な面を強化し、気づき・傾聴・見守りを中心に実践できる研修などを教員全体が受講できるような体制と支援が必要と思います。いじめ防止・自殺防止に関する研修等実施に向けて本市の決意を伺います。</p>
2	質問 (一問一答)	4 向田 誠市	<p>1 コロナウイルス感染症に関する件</p> <p>(1) 政府は、「現状屋外では原則マスク不要」としてありますが、3月13日より「屋内でのマスクは個人の判断に委ねる。」との方向に緩和されました。これまで本市においてもさまざまな制限により行事を自粛しています。今回の制限緩和により、本市の「小中学校の卒業式・入学式」及び「花と緑ののいち椿まつり」はコロナウイルス感染症以前に戻していくのか、これまでのようにある程度制限をした状態で行うのか。ご所見をお伺いします。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）	
2	質問 (一問一答)	4 向田 誠市		(2) コロナワクチン接種に関して自己負担が生ずる段階になった場合、全市民に対して補助金制度対応を検討されるお考えは御座いませんか。私は、「公費対応完全無償化」扱いにするべきと思いますが、ご所見をお伺いします。
			(3) 全ての医療機関でコロナ患者の診察が開始になった場合、これまで都道府県が発熱外来に指定した医療機関との連携がこれまで以上に重要不可欠になることが予測されます。そこで、本市の医療機関とさまざまな観点から細部にわたる打ち合わせを行うことが必須条件と思いますが、ご所見をお伺いします。	
			(4) 一部報道では「インフルエンザの流行やコロナウイルス感染症による発熱や咳をする児童が目立つことからコロナ対策対応は時期尚早では。」との記事を目にしましたが、私も同様の思いです。マスク着脱問題については、着脱によるいじめ問題も含めて、児童生徒達と十分な話し合いを行って結論をだすべきと考えます。そこで本市としての対応について 粟 市長のご所見をお伺いします。	
			2 公立松任石川中央病院に関する件	
			(1) 白山石川医療企業団でまとめられた基本構想で、総事業費100億円規模の予算を算出されておられますが、本市に対する負担金額は総事業費の何パーセント位で、予算化に向けての対応をどのようにお考えなのか。また、基本設計から完成までの工期等について、粟 市長にお伺いします。	
			3 本市の教育問題関連についての件	
			(1) 2021年に本市に国より「地方交付税交付金により図書購入費用」としての交付金は幾ら交付されたのですか。また、その交付金の全額を本市の二つの中学校・五つの小学校の図書購入費用に充てたのか否か。全て図書購入費として採用されていないのであれば使途項目は何か。お伺いします。	
			(2) 本市の小中学校の体力テスト対象学年男女別の得点は、県平均値と比較して点数はどれ位だったのか。また、今後の児童生徒さん達の体力向上に向け、どのような対策対応を検討実効されるお考えなのか。お伺いします。	
			(3) スポーツ庁は体力テストの全国平均点数が下がった要因に「デジタル機器に触れる機会が増えた」及び「新型コロナウイルス感染症拡大による制限」を掲げていますが、新年度より「マスク着用ルールの制限緩和」が図られることから、屋外に出て運動する機会は増えるかと思えます。しかし、「デジタル機器に触れる機会」の問題については、「AI機器の進化に伴い逆に触れる機会が増えていくのでは」と思わずにおられません。この問題に関してどのように対応策をお考えなのか。ご所見をお伺いします。	
			(4) 本市が行った「部活動地域移行 関係者アンケート集計結果」の項目の中に、教員に対する「兼職兼業」の項目で、「希望したい」が20.9%、「考えてみたい」が32.6%で、合わせると過半数以上の教員の方が「兼職兼業」を考えておられますが、本市として「教職員の労働勤務時間改革」の観点から、どう検討され対応されるのか。また、外部指導者に対し部活動指導以外の教育に関し、どこまでの許容範囲でお願いするのか。ご所見をお伺いします。	
(5) 中学校に訪問した際、職員室に向かう途中、階段の片隅に一人の生徒さんが下を向き指の爪に触っている姿を見かけました。私の目には「いじめに繋がるのでは。」と思わずにいられませんでした。このような状態を放置することで、いじめ問題の女子生徒さんのような事態に繋がって行くのでは思うのと、学校に対し、学校行事や学校から案内のある時だけ学校を訪問するのではなく、案内無しで突発的に学校訪問を行い、児童生徒さん達の学校生活の様子を見て指導することも重要と考えますが。ご所見をお伺いします。				
3	質問 (一問一答)	14 大東 和美	1 市内のWi-Fi設置状況及び市内全域のWi-Fi設置推進について	(1) 市内公共施設でのWi-Fi設置状況を伺います。新たな福祉避難所として選定している市内民間施設のWi-Fi設置状況も伺います。また、市内全域のWi-Fi設置を推進してはどうか、今後の方針を伺います。

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）																
3	質問 (一問一答)	14 大東 和美	<p>2 全天候型大型遊具設置施設の整備について</p> <table border="1" data-bbox="639 208 1458 344"> <tr> <td data-bbox="639 208 708 344">(1)</td> <td data-bbox="708 208 1458 344">本市を含む広域圏で全天候型大型遊具設置施設を整備する計画案があるのか伺います。 また、本市独自の全天候型大型遊具設置施設を整備する考えはないか伺います。</td> </tr> </table> <p>3 公共施設マネジメント～進化する手法～について</p> <table border="1" data-bbox="639 398 1458 909"> <tr> <td data-bbox="639 398 708 483">(1)</td> <td data-bbox="708 398 1458 483">本市では指定管理者制度を導入していますが、経費削減のほかどのような利点があり、どのような取り組みを試みられたのか伺います。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="639 483 708 598">(2)</td> <td data-bbox="708 483 1458 598">本市において外国人観光客の来訪が期待できる施設としては、野々市市ふるさと歴史館や野々市市郷土資料館、末松廃寺跡などが考えられますが、それらの管理運営の今後の方向性について伺います。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="639 598 708 712">(3)</td> <td data-bbox="708 598 1458 712">コロナ禍でも進めなければならない公共施設の老朽化対策と今後の公共施設の役割が大きく問われる事態の対応について、本市ではどのように取り組むのか伺います。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="639 712 708 826">(4)</td> <td data-bbox="708 712 1458 826">どのようなポストコロナの公共施設を考える事業で公開公募をされるのか、さらに手法が進化しているのであればその取り組みについても伺います。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="639 826 708 909">(5)</td> <td data-bbox="708 826 1458 909">ポストコロナの保育施設整備の在り方をどのように考えているのか伺います。</td> </tr> </table> <p>4 子育て世帯の住宅確保に向けた地域優良賃貸住宅における周辺環境について</p> <table border="1" data-bbox="639 994 1458 1135"> <tr> <td data-bbox="639 994 708 1135">(1)</td> <td data-bbox="708 994 1458 1135">本市の「つばきの郷住宅」や鹿児島県鹿屋市の「ハグ・テラス」の事例のように、民間のノウハウも活用した、子育て世帯の住宅確保に向けた地域優良賃貸住宅とその周辺環境の開発について、今後の取り組みを伺います。</td> </tr> </table> <p>5 手話を本市の第2言語にするためのプロジェクトを立ち上げて取り組んでみませんか</p> <table border="1" data-bbox="639 1220 1458 1361"> <tr> <td data-bbox="639 1220 708 1361">(1)</td> <td data-bbox="708 1220 1458 1361">多くの市民に手話の魅力とすばらしさを知っていただき、人と人のつながりを大切に育てていただきたいと願います。手話を本市の第2言語にするためのプロジェクトを立ち上げて取り組んでみてはいかがでしょうか。見解を伺います。</td> </tr> </table>	(1)	本市を含む広域圏で全天候型大型遊具設置施設を整備する計画案があるのか伺います。 また、本市独自の全天候型大型遊具設置施設を整備する考えはないか伺います。	(1)	本市では指定管理者制度を導入していますが、経費削減のほかどのような利点があり、どのような取り組みを試みられたのか伺います。	(2)	本市において外国人観光客の来訪が期待できる施設としては、野々市市ふるさと歴史館や野々市市郷土資料館、末松廃寺跡などが考えられますが、それらの管理運営の今後の方向性について伺います。	(3)	コロナ禍でも進めなければならない公共施設の老朽化対策と今後の公共施設の役割が大きく問われる事態の対応について、本市ではどのように取り組むのか伺います。	(4)	どのようなポストコロナの公共施設を考える事業で公開公募をされるのか、さらに手法が進化しているのであればその取り組みについても伺います。	(5)	ポストコロナの保育施設整備の在り方をどのように考えているのか伺います。	(1)	本市の「つばきの郷住宅」や鹿児島県鹿屋市の「ハグ・テラス」の事例のように、民間のノウハウも活用した、子育て世帯の住宅確保に向けた地域優良賃貸住宅とその周辺環境の開発について、今後の取り組みを伺います。	(1)	多くの市民に手話の魅力とすばらしさを知っていただき、人と人のつながりを大切に育てていただきたいと願います。手話を本市の第2言語にするためのプロジェクトを立ち上げて取り組んでみてはいかがでしょうか。見解を伺います。
(1)	本市を含む広域圏で全天候型大型遊具設置施設を整備する計画案があるのか伺います。 また、本市独自の全天候型大型遊具設置施設を整備する考えはないか伺います。																		
(1)	本市では指定管理者制度を導入していますが、経費削減のほかどのような利点があり、どのような取り組みを試みられたのか伺います。																		
(2)	本市において外国人観光客の来訪が期待できる施設としては、野々市市ふるさと歴史館や野々市市郷土資料館、末松廃寺跡などが考えられますが、それらの管理運営の今後の方向性について伺います。																		
(3)	コロナ禍でも進めなければならない公共施設の老朽化対策と今後の公共施設の役割が大きく問われる事態の対応について、本市ではどのように取り組むのか伺います。																		
(4)	どのようなポストコロナの公共施設を考える事業で公開公募をされるのか、さらに手法が進化しているのであればその取り組みについても伺います。																		
(5)	ポストコロナの保育施設整備の在り方をどのように考えているのか伺います。																		
(1)	本市の「つばきの郷住宅」や鹿児島県鹿屋市の「ハグ・テラス」の事例のように、民間のノウハウも活用した、子育て世帯の住宅確保に向けた地域優良賃貸住宅とその周辺環境の開発について、今後の取り組みを伺います。																		
(1)	多くの市民に手話の魅力とすばらしさを知っていただき、人と人のつながりを大切に育てていただきたいと願います。手話を本市の第2言語にするためのプロジェクトを立ち上げて取り組んでみてはいかがでしょうか。見解を伺います。																		
4	質問 (一問一答)	1 梅野智恵子	<p>1 第三者委員会による調査報告書について</p> <table border="1" data-bbox="639 1415 1458 1579"> <tr> <td data-bbox="639 1415 708 1579">(1)</td> <td data-bbox="708 1415 1458 1579">第三者委員会による調査報告書は未来の教育行政への提言が詰まっており、一般公開されるということは誠実な対応であると受け止めております。今後様々な場面でこの報告書の提言が活かされることとなると存じますが、この調査報告書を受けて、学校として特に改善する点、現在重点的に取り組まれていることは何か、お伺いいたします。</td> </tr> </table> <p>2 相談体制とメンタルケアの強化について</p> <table border="1" data-bbox="639 1632 1458 2145"> <tr> <td data-bbox="639 1632 708 1796">(1)</td> <td data-bbox="708 1632 1458 1796">いじめ防止対策強化に向け、4月から市役所に移す少年育成センターでSNSやいじめに関する相談窓口を開設し、教育相談体制を充実させるとのこととございます。この窓口へは子どもたちがどういうルートで相談アクセスする設定であるのかお伺いいたします。 また、解決へと繋ぐ具体的な機能の流れをお伺いいたします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="639 1796 708 2011">(2)</td> <td data-bbox="708 1796 1458 2011">教育委員会や学校からの説明によると、第三者委員会による報告書があげられ報道があったことを受け、翌日の保護者説明会のその日すぐに県からスクールカウンセラーを緊急的に配置し、また市民カウンセラーをボランティア要請されたとのことと、迅速な対応をされたと伺っております。スクールカウンセラーと市民カウンセラーの各々の対応や役割について違いはあるのか、市民カウンセラーは今後も継続要請の予定はあるのか、伺います。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="639 2011 708 2145">(3)</td> <td data-bbox="708 2011 1458 2145">生徒が自死した年にあたる令和3年3月定例会の予算決算常任委員会では健康福祉部から野々市市自殺対策計画において令和4年度までにゲートキーパーを500人育成するとのこととございましたが、達成状況をお伺いいたします。</td> </tr> </table>	(1)	第三者委員会による調査報告書は未来の教育行政への提言が詰まっており、一般公開されるということは誠実な対応であると受け止めております。今後様々な場面でこの報告書の提言が活かされることとなると存じますが、この調査報告書を受けて、学校として特に改善する点、現在重点的に取り組まれていることは何か、お伺いいたします。	(1)	いじめ防止対策強化に向け、4月から市役所に移す少年育成センターでSNSやいじめに関する相談窓口を開設し、教育相談体制を充実させるとのこととございます。この窓口へは子どもたちがどういうルートで相談アクセスする設定であるのかお伺いいたします。 また、解決へと繋ぐ具体的な機能の流れをお伺いいたします。	(2)	教育委員会や学校からの説明によると、第三者委員会による報告書があげられ報道があったことを受け、翌日の保護者説明会のその日すぐに県からスクールカウンセラーを緊急的に配置し、また市民カウンセラーをボランティア要請されたとのことと、迅速な対応をされたと伺っております。スクールカウンセラーと市民カウンセラーの各々の対応や役割について違いはあるのか、市民カウンセラーは今後も継続要請の予定はあるのか、伺います。	(3)	生徒が自死した年にあたる令和3年3月定例会の予算決算常任委員会では健康福祉部から野々市市自殺対策計画において令和4年度までにゲートキーパーを500人育成するとのこととございましたが、達成状況をお伺いいたします。								
(1)	第三者委員会による調査報告書は未来の教育行政への提言が詰まっており、一般公開されるということは誠実な対応であると受け止めております。今後様々な場面でこの報告書の提言が活かされることとなると存じますが、この調査報告書を受けて、学校として特に改善する点、現在重点的に取り組まれていることは何か、お伺いいたします。																		
(1)	いじめ防止対策強化に向け、4月から市役所に移す少年育成センターでSNSやいじめに関する相談窓口を開設し、教育相談体制を充実させるとのこととございます。この窓口へは子どもたちがどういうルートで相談アクセスする設定であるのかお伺いいたします。 また、解決へと繋ぐ具体的な機能の流れをお伺いいたします。																		
(2)	教育委員会や学校からの説明によると、第三者委員会による報告書があげられ報道があったことを受け、翌日の保護者説明会のその日すぐに県からスクールカウンセラーを緊急的に配置し、また市民カウンセラーをボランティア要請されたとのことと、迅速な対応をされたと伺っております。スクールカウンセラーと市民カウンセラーの各々の対応や役割について違いはあるのか、市民カウンセラーは今後も継続要請の予定はあるのか、伺います。																		
(3)	生徒が自死した年にあたる令和3年3月定例会の予算決算常任委員会では健康福祉部から野々市市自殺対策計画において令和4年度までにゲートキーパーを500人育成するとのこととございましたが、達成状況をお伺いいたします。																		

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）	
4	質問 (一問一答)	1 梅野智恵子	(4)	<p>コロナ禍において学校の授業参観が行われず、保護者懇談会も3年以上なされなかったということも保護者と学校の間で意思疎通が図りにくい要因の一つであったと考えます。政府は次年度ゴールデンウィーク明けの5月8日から、コロナ5類に引き下げられると正式に発表されました。コロナ感染拡大前の日常に戻りつつあり、学校も保護者による授業参観や行事参加を通常に戻していくことが望まれます。次年度からどうしていくのか本市教育委員会の見解を伺います。また新たな相談体制を保護者に提供されていかれるのか、本市教育委員会の見解をお伺いいたします。</p>
			(5)	<p>令和3年度公立学校教職員の人事状況調査によると、教育職員の精神疾患による病気休職者数は、5,897人で、令和2年度から694人増加し、過去最多とされており、石川県では同理由で休職されている教職員の人数は何名であるか、また本市小中学校の教職員のメンタルケアはどのように取り組まれているのか、お伺いいたします。</p>
			3 子どもの権利に関する条例制定について	
			(1)	<p>全国の自治体でも子どもに関する条例が次々に制定され、国でも「こどもまんなか社会」実現に大きく舵を切りました。令和4年にこども基本法が国会で成立され、次年度4月1日施行、それに伴いこども家庭庁が発足されます。まず、こども家庭庁の設置により本市でもこども政策において縦割りによる教育行政と健康福祉部所轄課、また人権を扱う市民協働課の関わりが曖昧になっていたものが一元されて共有されていく事を期待しております。今後本市としてどのように連携体制を構築していくのか、展望をお伺いいたします。</p>
			(2)	<p>コミュニティスクールも設置され、学校、地域、外部専門家とのつながり、保護者との連携がさらに加速していく過程であります。前述したこども家庭庁も設置されます。若い尊い命が失われたということを風化させないために、関係部課も連携し、オール野々市市で子どもの権利条例制定に動くべきと考えます。条例の前文には本市中学1年生のいじめが原因による自死により制定に至ったという経緯、二度とこのようなことはおこさないという趣旨を記述していただきたいと考えます。野々市市に相応しい子どもたちの声を尊重し、子どもたちが主体となる条例を制定していただきたいと強く願います。それが亡くなられた生徒の思いを風化させないというメッセージとなり、本市が向き合い取り組むべきではないかと考えます。市長のご答弁をお伺いいたします。</p>
5	質問 (一問一答)	15 岩見 博	1 物価の値上がりに苦しむ市民生活を守るための政治を	
			(1)	<p>賃金は上がらず年金も下がる一方なのに、物価は値上がりの連続で市民の暮らしは壊されています。4月には電気料金が45%も値上げされるのははじめ、1万品目の食料品が値上げになると言われています。岸田政権の物価対策の無為無策がもたらしている人災です。地方自治法第1条の2で、「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本」としています。物価高騰で市民の暮らしと経営が大きな打撃を受け、地域経済の疲弊が深刻になっている時だからこそ、地方自治体に「市民の暮らし、経営を守る」仕事に全力で取り組むことが求められている。市長に市民の「暮らしが大変」という声は届いていますか。</p>
(2)	<p>企業会計の独立採算制を理由に一般会計からの繰入を止めたことで市民の上下水道料金の負担が増えています。物価高騰の中で上下水道料金の負担増は決して軽くはありません。しかも、一般会計からの繰入を止めたのが原因です。しかも、繰入をしていないのは野々市市だけです。市民の暮らしを守る行政のやることではありません。物価高騰から市民の暮らしを守るために、一般会計からの繰入をおこない、上下水道料金を引き下げることを求める。</p>			

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）	
5	質問 (一問一答)	15 岩見 博	2 無償化の流れに逆行する学校給食費の値上げを中止し、無償化に踏みだすよう求める	
			(1)	<p>第一生命経済研究所は2022年の出生数を77万1000人と推計し、出生率も1.27程度に下がるとしています。これは、国立社会保障・人口問題研究所が22年の出生数を85万人とし、77万人になるのは2033年としていた推計を11年も早く少子化が進んでいることとなります。内閣府の2020年度の国際比較調査で、「自国が子どもを産み育てやすい国だと思うか」との問いに「そう思う」と答えたのは、日本では4割未満です。8割～9割に上るフランス、ドイツ、スウェーデンとは対照的です。日本の深刻な少子化には、育児、教育への経済的支援に背を向けてきた自公政権のゆがみが影響しています。「異次元の少子化対策」はこれを転換できるかどうかです。こうした視点で本市における少子化対策、子育て支援について質問します。(1) 昨年の穴水町に続き、新たに小松市と七尾市が新年度から小中学校全学年の給食費を無償にします。加賀市も継続するとしています。ところが、本市は4月から学校給食費を値上げするというのですからこの違いは何なのか。石川県議会の自民党は、政府に「学校給食の無償化制度の構築を求める意見書」を提出している。そのなかで、教科書無償措置と同様に、「食育に必要不可欠である学校給食においても、義務教育の段階では無償とすることが望ましい」としている。全く同感です。このように、県内でも無償化の世論、動きが一気に強まっていることに市長、教育長の受け止めを伺う。</p>
			(2)	<p>私が行っている市民アンケートで、教育費の負担軽減を求める声は子育て世代の6割にも達していることから明らかなように、その願いに逆行する給食費の値上げは全国で広がっている給食費の無償化を求める流れにも逆行している。加えて、地方自治の本旨である「住民福祉の増進を図る」ということにも反する。憲法第26条は「義務教育は、これは無償とする」としている。学校給食は教育です。地方自治法の本旨と憲法第26条に立ち返り、給食費の値上げは中止して無償化にこそ踏みだすことを求める。</p>
3	0歳から2歳児をはじめ、すべての子どもの保育料の無償化を			
(1)	<p>少子化対策、子育て支援策として保育料の無償化について質問します。私はいま学校給食の無償化を求める署名を取り組んでいます。4人の子供を育てている方から次のような声が署名用紙に記されていました。「3子以降は金沢市は0円です。野々市はまだ0円にならず、今年から我が家は6万円以上払います。金沢市に住めば6万円払わなくて済みます。これは大変大きな違いです。少子化問題がある中、野々市市も0円になればもっと子供を産む家庭は増えます。このままでは、金沢市に引っ越すことも検討します。そういう家庭が増えると思います。同時入所の条件に何の意味があるのかわかりません」という声です。私が行っている市民アンケートを含め、同じような声はいくつも寄せられています。少子化対策が大きな政治課題となっている中、保育料の無償化もその中心課題です。県内自治体でも保育料無償の対象年齢の拡大が一気に進んでいます。新聞報道を見て慌てて質問準備原稿を書きなおさなければならない動きです。すでに金沢市が行っている第3子以降の無償をはじめ、加賀市は小中学校の給食無償化の継続に続き、新年度から0歳から2歳児の第2子保育料を所得制限なしで無償化にするとしています。七尾市も、小中学校の給食無償化とともに、第2子以降の保育料を一律で無償にするとしています。こうした県内自治体の早い行動に野々市市はついていけない事態になっているのではありませんか。人口が増えているからと構えている場合ではありません。市民の声に耳を傾け、0歳から2歳児をはじめ、すべての子どもの保育料を無償にする考えはありませんか。</p>			

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）	
5	質問 (一問一答)	15 岩見 博	4 保育士の配置基準改善で園児の命と安全を守る保育の提供を	
			(1)	<p>私が行っている市民アンケートに、保育の現場で働いておられる40代の保育士から次のような声が寄せられました。「全国的に保育士の問題がいろいろ出ていますが、現場の保育士にもいろいろな制限が課せられ限界があります。最近では保護者ファーストの意向が強く、補助金が出ない等の問題で現場の保育士にも余裕がなく、ニュースで聞くような事件・事故が起ってしまうことも分かる面があります。このようなことがあってはならないことはよく分かっていますが、防ぎきれないこともあるということも事実です。現場で保育士を長年していますが、責任ばかり重くなり給料面でも待遇もよくなりませんので、転職する人も多いです。保育士が少なくなり、ますます問題が起きてしまうのでは、との思いがあります。保育士の処遇改善をお願いします」という声です。50代の保育士と思われる方からは「国には、保育士に丸投げの子育てをする政策を何とかしてほしい。0歳児3人にひとり、1歳児6人にひとりの充足で足りるわけがない。量の拡充、質の向上のどちらも求められ、子供の命を守る重責を背負い、先生たちが辞めていくのも当然、保育士も一市民であることを忘れないでほしい」という声が寄せられています。こうした声はすべての保育士に共通することではないでしょうか。こうした声を市長はどのように受け止めるか。</p>
			(2)	<p>市の新年度事業として、入園要件である保護者の勤務時間の要件を緩和し、保護者の多様な働き方に対応した保育サービス拡大を図るとしています。少子化対策、子育て支援策として必要な事です。同時に、事業をするうえで必要となるのが保育士の確保です。ところが、現在の国の保育士配置基準が定められたのは1、2歳児が56年前、4、5歳児が75年前で、明らかに今の実態にあわない配置基準です。3、4、5歳児では、経済協力開発機構（OECD）の調査国・地域で最低です。これでは保育の長時間化などで仕事量も増える中、子どもに目が行き届かず、心も体も疲れ切っている現場の実態は園児の命と安全を守ることができない。保護者も安心して子供を預けることが出来るようにしなければなりません。それには保育士の配置基準の改善がどうしても必要です。例えば、本市の場合、ゼロ歳児は現行の園児3人に保育士1人となっているのを園児2人に保育士1人に、2歳児は現行の6対1を5対1に、5歳児は30対1を25対1に改善できないか。</p>
			5 高齢者・障がい者に「のっティ」「のんキー」の無料パスの発行を	
			(1)	<p>自動車運転免許証を返納した場合の一番の悩みは、車に乗れなくなることで時間の自由、移動の自由、物を運ぶ手段等々が大きく制約され著しく不便になることです。容易にその不便さと苦痛は想像できる。高齢者と「そろそろ返納を考えなければならないかな」と考えておられる方に共通した市に求める要望は、「のっティ」「のんキー」の無料パスの発行です。地方では大都市のように何時でもどこでも公共交通が利用できるわけではありません。本市でも高齢化が進むなか避けて通れない課題ではないでしょうか。高齢者に生きがいを持って元気でいてもらうためにも「のっティ」「のんキー」の無料パスの発行を。</p>
			6 旧本町児童館と大倉外科医院跡地の活用策について	
(1)	<p>新年度予算で北国街道にぎわい創出事業として、旧大倉外科医院跡地の活用策を検討するとしていますが、大倉外科医院跡地をいくらで買ったのか。当初の購入目的は、北国街道を訪れる観光客用の案内看板を立てるとかトイレを設けるとか、交差点の改良でしたが、訪れる観光客もいないのではトイレも案内看板も必要ありません。使い道はこれから考えるというのですからあきれるばかりです。使い道がコロコロ変わり、挙句にはこれまでの説明、議会での答弁がなかったかのようにこれから考えるという土地を買う必要性はどこにあるのですか。自ら決めた財政健全化集中取組に反するのではないか。</p>			
(2)	<p>大倉外科医院跡地の活用策をこれから検討すると言いますが、北国街道にぎわい創出に係わるどのような活用策を考えておられますか。</p>			
(3)	<p>旧本町児童館の活用の検討にあたっては、地域の子どもの遊びの場の確保を最優先に、当地での児童館の建て替えを含め検討すべきではないか。</p>			

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
5	質問 (一問一答)	15 岩見 博	<p>7 いじめ問題について</p> <p>(1) 2年前、当時中学校一年生の女子生徒が自ら命を絶った事件の第三者調査委員会の調査報告書は、最後に、「明らかになったことは、本生徒が孤立感と絶望感を味わいながらも、最期まで死に抵抗し懸命に生きようとしていたこと、自ら苦しい状況に置かれていても他者を思いやる優しい心の持ち主であったこと、であった」と記している。調査報告書全体を凝縮した重い指摘である。あらためて女子生徒の命を救うことが出来なかったことの責任の重さを痛感させられる指摘ではないか。行政の最高責任者として、教育委員会の最高責任者としての受け止めを伺う。</p> <p>(2) 女子生徒が自ら命を絶つ直前までいじめがあったことが調査報告書で認定されているが、学校はなぜ「いじめは解決した」と事実を隠蔽し教育委員会に報告したのか疑問が残されている。関わってきた教師や校長のいじめの捉え方、認識の甘さとともに、「忙しいから」とか、上意下達の風潮が子どもの命最優先の原則が後回しにしてきたのではないか。そうした風潮が学校だけでなく教育委員会にもなかったと言えるか。</p> <p>(3) 第三者委員会は、「スクールカウンセラーの役割が十分に浸透しておらず、現に利用した生徒も少数であり、生徒にとって気軽に利用できる存在でなかったようである。加えて、スクールカウンセラーが教員に対して生徒と日々接する際の留意点について助言した形跡はない」と断じている。また、本生徒に関するいじめの情報がスクールカウンセラーに共有されなかったことも大きな問題と指摘している。これは、学校、教師だけの問題ではありません。スクールカウンセラーを配置しているから相談体制はとれているとしてきた市長及び教育委員会のいじめ問題の認識不足、理解不足を厳しく戒めている指摘である。市長、教育長にそうした認識はあるか。また、指摘されていることを今後どのように改善していくのか具体策を伺う。</p> <p>(4) 新年度から、教育センターの専門教育相談員兼指導員を追加配置しているが、第三者委員会が生徒や保護者、学校、教師に対し、スクールカウンセラー、弁護士、医師、スクールソーシャルワーカー等、それぞれの専門知識を有した人材の活用と周知を求めていることと別と捉えてよいか。</p>
6	質問 (一問一答)	8 西本 政之	<p>1 福祉連携調整室について</p> <p>(1) 多様な福祉ニーズに対応するための福祉連携調整室の人員面も含めた在り方について伺う。</p> <p>2 教育センターについて</p> <p>(1) 体制強化のための2名増員の根拠と、具体の運用を伺いたい。</p> <p>(2) 施設の老朽化と部屋不足を訴える声を聞くが、今後の更新の予定を伺う。</p> <p>3 雨水浸透・貯留施設設置費の補助について</p> <p>(1) 雨水浸透・貯留施設設置費補助の具体を伺う。</p> <p>4 野々市中央公園西線整備事業について</p> <p>(1) 用地取得の予算が計上された整備事業のタイムスケジュールと信号機の設置について伺いたい。</p>
7	質問 (一問一答)	7 安原 透	<p>1 地域コミュニティと市民協働について</p> <p>(1) 町内会について社会的な背景を含め、地域で市民協働を推進する意義や、コミュニティの要である町内会に期待する役割について伺う。</p> <p>(2) 町内会が市民協働を推進して自治運営をする中で、町内会の現状において行政が各町内会の課題や問題について、把握されているか、またその課題や問題に対して対応等がどのように対処されているのか伺う。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
7	質問 (一問一答)	7 安原 透	<p>2 新たな地域コミュニティ組織の必要性について</p> <p>(1) 核家族化の進展による子育て環境の変化等、10年後、20年後における地域運営の持続や、市民で支え合う「共助の仕組み」や、課題解決に向けて、地域づくりを目指して、コミュニティ力を結集した取り組みをしなければならぬと考えますが、本市として、どのように課題解決力をどう強化していくのか伺う。</p> <p>3 野々市版地域DXの推進について</p> <p>(1) 本市、地域版DXの推進をどのように進めていくかについて、方向性と具体的な推進策を伺う。</p> <p>4 本市公民館の利用促進について</p> <p>(1) 現在、中央公民館及び各地区公民館は、基本祝日は休館となっておりますが、より施設を利用しやすいように、利用促進の観点からも、野々市市公民館条例施行規則を改定し、土、日をはじめ祝日は開館すべきであると考えますがどうか。</p> <p>5 野々市市の食育と地産地消について</p> <p>(1) 本市の子どもたちへの食育の取組と課題について、また食育について子どもの将来につながる体験学習は、どのように推進されているのか伺う。</p> <p>(2) 本市の学校における栄養教諭の配置状況と併せて、本市学校給食における食の安全、安心の取組である地産地消の取組について、状況はどのようになっているのか。また、割合を増やすための工夫をしているのか伺う。</p>
8	質問 (一問一答)	5 北村 大助	<p>1 市道路線除雪について</p> <p>(1) 市内積雪時の各市道路線除雪出動の現行基準を伺います。隣接する自治体の出動基準と比較した場合、いささか異なるのか合わせて伺います。市内北部と南部では積雪深が異なる場合の最終判断はどのように決断されているのか、市長の見解を伺います。</p> <p>(2) 町内の市道路線に対する除雪対応に自助・共助の取組として町内会単位で除雪作業を行うと検討される機運が高まっています。一方でどこにご相談すれば良いのかと悩まれている声をいただきます。次年度を目途に、そのような課題を抱える町内会と市建設業協同組合をマッチング出来るようなスキーム作りに取り組んでいただく事が「市民協働」に繋がると考えますが、市長の見解を伺います。</p> <p>2 国際ツバキ会議開催地誘致について</p> <p>(1) 野々市中央公園が「国際優秀つばき園」に認定されてから、3年が経過します。これから「公園の付加価値」を活用した事業展開を行う大切な段階にきています。石川県や広域圏という幅広い連携を図りながら本市を訪れる機会にさせていただきたいと思いますが、市長の見解を伺います。合わせて具体的な構想や企画などがあるのか伺います。</p> <p>(2) 本州で唯一の「国際優秀つばき園」を有する強みを活かして将来的に日本が国際ツバキ会議開催国としてのタイミングが巡ってくる時には「開催地候補」として誘致する思いを抱いているのか、市長の思いを伺います。</p> <p>3 「施設予約案内システムの導入」について</p> <p>(1) 今回の当初予算でようやく利用者の皆さんに喜んでいただけるのではないかと評価致しますが、導入に至ることが出来た経緯を伺います。またどの自治体と共同購入を行い、運営方法・利用者の利便性について具体的に伺います。加えて窓口負担軽減・人件費削減等の効果も期待出来るのか、市長の見解を伺います。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
8	質問 (一問一答)	5 北村 大助	<p>4 JR北陸本線在来線について</p> <p>(1) IRいしかわ鉄道株式会社に安定的な運行と経営確保のため、本市から拠出する株主としての出資額を伺います。また出資額の算定根拠を伺います。加えてJR野々市駅がIRいしかわ鉄道へと移行する事に伴い、駅舎の設備や施設の改修がどの程度、どのタイミングで行われるのか、費用負担割合等も合わせて市長の見解を伺います。市長もIRいしかわ鉄道株式会社の経営に直接参画するという理解でよろしかったか伺います。</p>
			<p>5 市立中学校の管理職について</p> <p>(1) 学校多忙化の要因に「時間と労力を費やしている職務」として「各種調査依頼等への対応」を筆頭に「保護者・PTAとの連携」「施設・設備の管理」「地域との連携」という事が全国公立学校教頭会のアンケート調査から明らかになっています。また、副校長職・教頭職の負担・疲労やストレスを感じる職務として圧倒的に多い回答は「各種調査依頼等への対応」と「苦情対応」であり、こういった事も学校多忙化の要因となっていることが明確に記されていました。さらなる学校教育の充実を図る目的として「公募型副校長採用制度」の導入を検討すべき時期にきているのではないのでしょうか。 現在の学校現場では、特別支援教育・不登校・いじめ・グローバル化・少子高齢化・ICT・英語教育・プログラミング教育など学校が対応すべき仕事が多様化していますが、まさに管理職としてのマネジメント力強化が求められています。 一方で市立中学校の教職員人事及び採用権は県教育委員会にあります。本市がその都度望む人材を県教委と連携を図りながら直接、管理職採用が出来るように検討いただきたいと考えますが市長の見解を伺います。</p>